

## ロームの企業目的と目指す姿

ロームの事業活動は、創業時から変わらない「企業目的」に基づいており、良い商品の供給やものづくりを通じて、文化の進歩向上に貢献してきました。現在は、それをより具体化したステートメントや経営ビジョンに基づき、事業活動を行っています。また、2030年度にグローバルメジャーを目指すことを掲げ、そこからバックキャストした形で中期経営計画を策定しました。戦略立案においては、ロームが解決すべき経営の重要課題として「マテリアリティ」を抽出し、関連する「リスクと機会」を特定することで中長期的な価値創造ストーリーを描いています。

**2030**  
グローバルメジャー  
の実現

**2025**  
中期経営計画

“MOVING FORWARD to 2025”

“自動車” “海外”での成長実現と  
更なる成長に向けた基盤づくり

> P.28

**マテリアリティ**  
**リスクと機会**

> P.24-27

### 企業目的

われわれは、  
つねに品質を第一とする。  
いかなる困難があろうとも、  
良い商品を国の内外へ永続かつ  
大量に供給し、文化の進歩向上に  
貢献することを目的とする。

### ステートメント

**Electronics for the Future**

ロームは、エレクトロニクスの技術で、  
社会が抱えるさまざまな課題を解決し、  
未来に向けて、人々の豊かな暮らしと、  
社会の発展を支え続けていきます。

### 経営ビジョン

パワーとアナログにフォーカスし、  
お客様の“省エネ”・“小型化”に  
寄与することで、社会課題を  
解決する。

**ROHM**  
SEMICONDUCTOR

ローム株式会社

### 社名の由来

半導体メーカー「ROHM」の社名は、創業当時の生産品目である抵抗器 (Resistor) の頭文字「R」に抵抗値の単位Ω「ohm」を組み合わせたものです。「R」は信頼性 (Reliability) にも通じており、品質を第一とするロームのポリシーを表しています。

## ロームが目指す「グローバルメジャー」とは

ロームは2030年度に「グローバルメジャー」となることを目指しています。その実現には、ロームというブランドをグローバル規模で確立し、社会に必要な会社として認められることが必要です。

### 1 社会・世界中の顧客に必要不可欠な会社

企業目的に掲げる「品質第一」を礎に、市場及び顧客のニーズを先取りしながら、パワー・アナログのすり合わせ技術を更に進化させ、顧客の商品の“省エネ”・“小型化”に寄与することで、社会課題を解決する、世の中に必要不可欠な会社として人々に認識されることを目指しています。

### 2 「パワー・アナログのローム」としてのブランドの確立

注力する自動車及び産業機器向けのパワー・アナログ半導体をはじめ、あらゆる商品に対して、社会や顧客から「ロームなら大丈夫」と品質を信頼し安心していただき、まず「パワー・アナログならローム」と思い浮かべていただけるようなブランド力の確立を目指します。

### 3 パワー・アナログ半導体で世界トップ10、売上高1兆円の達成

パワー・アナログ半導体の分野で世界トップ10、売上高1兆円をグローバルメジャー達成の指標としています。これは、顧客から確固たる信頼を得て、本当に世の中に必要とされている会社と認められるためには、企業規模の拡大が必要なこと、また、売り上げを社会に貢献した総量と捉えているためです。